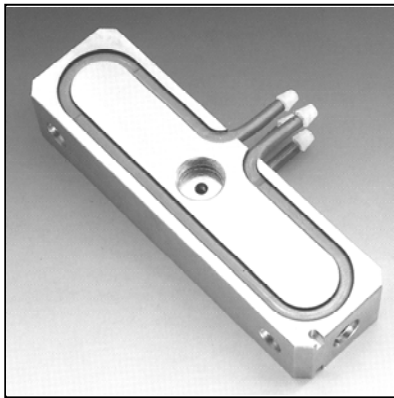


シースヒーター マニホールド

ホットランナ マニホールドの熱管理には、カートリッジヒーターやアルミ鑄込みヒーターが一般的に使用されていますが米国及びヨーロッパでは写真のようなシースヒーターの埋め込み方法が多く採用されています。

特 長

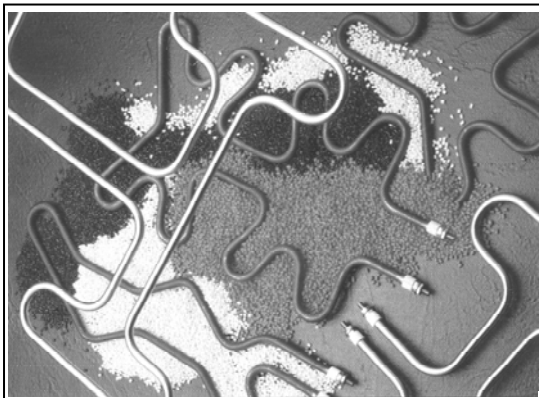
均熱に最適リード線大型でも4本のみ、温度センサーも一個所ですむ。
ゲート・ランナーへの距離を均熱する事が出来る。
故障が少ない。



手 順

樹脂ランナー・ゲートを囲み込むようにブロックの両面にヒーター溝を掘る。
ヒーター溝形状にあわせシースヒーターを曲げ加工し埋める。
サーモセメントをつめ込み固定して乾燥させる。

【シースヒーター】



納入方法

シースヒーターの図面を支給して頂きにシースヒーターを曲げ加工して納入する。
溝を掘ったマニホールドブロックを支給して頂き、シースヒーターを現物合わせしサーモセメントで埋め込み乾燥させて納入する。
マニホールドブロックの図面を支給して頂きブロック加工、ヒーター埋め込みまでの完成品で納入する。
～ を御都合に合わせて御選び下さい。

5W/cm²までは国産シースヒーター
6W/cm²/米国製ワットロッド

お問い合わせ 日本金型産業㈱ TEL: 03-3733-6311 FAX:03-3736-5300 E-mail : jtd@jtdtky.co.jp